

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 鈴茂器工株式会社
 コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

(氏名) 小根田 育治
 (氏名) 藤田 進一

TEL 03-3993-1371

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	4,011	—	246	—	255	—	146	—
20年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	29.52	—
20年3月期第3四半期	—	—

(注)当社は、平成21年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成20年3月期第3四半期の数値並びに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	6,351	5,481	86.3	1,105.67
20年3月期	6,458	5,409	83.8	1,091.12

(参考)自己資本 21年3月期第3四半期 5,481百万円 20年3月期 5,409百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,750	—	458	—	458	—	265	—	53.45

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 4,960,000株 20年3月期 4,960,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 2,000株 20年3月期 1,858株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 4,958,070株 20年3月期第3四半期 一 株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月22日公表の連結業績予想は、修正しておりません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した金融市場の混乱とそれに伴う米国経済の急激な減速に加え、円高の進行や株価の下落などの影響を受け、設備投資の大幅な減少や個人消費の低迷が鮮明となり、景気は減速基調を強めております。

外食産業におきましては、所得の伸び悩みや雇用情勢の悪化による消費者マインドの低下や店舗の統廃合、出店計画の見直しなどの投資抑制の影響があるなか、一連の食品偽装や消費期限偽装問題により、お客様の安心、安全に対する意識は高く、引続き厳しい経営環境で推移しております。

このような情勢の中、当社グループは、お客様の店舗運営の効率化・省力化にお応えできるよう、きめ細かい提案営業を中心とした販売活動を展開いたしました。既存取引先は勿論のこと新規需要先の開拓についても積極的に販売活動を推進いたしました。10月には、予めから開発しておりました超小型シャリ玉ロボット「SSN-Fシリーズ」を発売いたしました。海外については、急激な円高の影響を受ける中、アジア地域、ヨーロッパ地域、オセアニア地域を中心に販売活動を積極的に展開いたしました。

加えて、株式会社セハー・ジャパンについては、営業施策の徹底とともに販売管理の整備を着実に進めております。アルコール系洗剤・除菌剤等の販売面につきましては概ね順調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期における売上高合計は40億11百万円となりました。製品内訳は、寿司・おむすびロボット等の製品売上高30億12百万円、炊飯関連機器および食品資材等の売上高9億20百万円、その他売上高79百万円となりました。

また、利益につきましては、営業利益は2億46百万円、経常利益は2億55百万円、四半期純利益は1億46百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計期間末に比べ1億6百万円減少し63億51百万円となりました。これは主に、たな卸資産が1億25百万円、有形固定資産が39百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1億40百万円減少したこと、および現金及び預金が1億59百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計期間末に比べ1億78百万円減少し8億69百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が37百万円増加した一方で、未払法人税等が1億12百万円減少したこと、および賞与引当金が85百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計期間末に比べ72百万円増加し54億81百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少した一方で、四半期純利益により1億46百万円増加したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値につきましては、平成20年5月22日公表時から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 税金費用の計算

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

③ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これに伴う、リース資産計上、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,074,678	2,233,773
受取手形及び売掛金	731,216	871,374
たな卸資産	905,515	780,414
繰延税金資産	92,499	92,347
その他	45,131	18,471
貸倒引当金	△1,132	△1,175
流動資産合計	3,847,909	3,995,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,060,449	1,099,463
土地	766,170	766,170
その他(純額)	175,854	97,117
有形固定資産合計	2,002,474	1,962,751
無形固定資産		
のれん	31,714	37,311
その他	57,442	58,427
無形固定資産合計	89,157	95,739
投資その他の資産		
投資有価証券	131,056	128,986
繰延税金資産	150,392	150,493
その他	141,516	202,010
貸倒引当金	△10,603	△77,010
投資その他の資産合計	412,361	404,480
固定資産合計	2,503,993	2,462,971
資産合計	6,351,903	6,458,177

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	267,157	229,626
短期借入金	27,040	26,442
未払法人税等	15,212	127,833
賞与引当金	59,798	145,725
その他	197,369	232,007
流動負債合計	566,577	761,635
固定負債		
長期借入金	7,020	11,575
退職給付引当金	224,697	204,600
役員退職慰労引当金	71,613	70,429
固定負債合計	303,330	286,605
負債合計	869,908	1,048,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	571,200
資本剰余金	399,850	399,850
利益剰余金	4,483,480	4,411,502
自己株式	△1,183	△1,115
株主資本合計	5,453,347	5,381,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,647	28,499
評価・換算差額等合計	28,647	28,499
純資産合計	5,481,995	5,409,936
負債純資産合計	6,351,903	6,458,177

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,011,940
売上原価	2,234,693
売上総利益	1,777,247
販売費及び一般管理費	1,531,108
営業利益	246,139
営業外収益	
受取利息	3,306
受取配当金	1,776
保険解約返戻金	3,224
その他	2,832
営業外収益合計	11,140
営業外費用	
支払利息	525
手形売却損	711
売上割引	807
その他	81
営業外費用合計	2,125
経常利益	255,155
特別利益	
投資有価証券売却益	231
貸倒引当金戻入額	3,568
特別利益合計	3,799
特別損失	
有形固定資産除却損	16
特別損失合計	16
税金等調整前四半期純利益	258,938
法人税等	112,560
四半期純利益	146,378

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、「参考資料」は、前四半期に係る個別の四半期損益計算書を記載しております。

(1) (要約) 前四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	4,057,218
II 売上原価	2,240,105
売上総利益	1,817,112
III 販売費及び一般管理費	1,409,295
営業利益	407,817
IV 営業外収益	5,638
V 営業外費用	1,367
経常利益	412,088
VI 特別利益	757
VII 特別損失	60
税引前四半期純利益	412,785
法人税、住民税及び事業税	166,764
四半期純利益	246,021